



2021年12月15日

各 位

上場会社名 内外トランスライン株式会社  
 代表者 代表取締役社長 常多 晃  
 (コード番号 9384)  
 問合せ先責任者 取締役 三根 英樹  
 (TEL 06-6260-4800)

## 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年9月15日に公表した通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

2021年12月期通期連結業績予想数値の修正(2021年1月1日～2021年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期純利益	
				1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	32,000	3,190	3,270	2,200	226.09
今回修正予想(B)	34,700	3,720	3,820	2,610	268.18
増減額(B-A)	2,700	530	550	410	
増減率(%)	8.4	16.6	16.8	18.6	
(ご参考)前期実績 (2020年12月期)	22,209	1,411	1,484	850	87.48

### 修正の理由

当社グループの2021年12月期における通期連結業績は、9月15日に公表いたしました以下の状況が継続し、想定を超えて業績が進捗していることから、前回予想を上回る見込となりました。

#### (日本セグメント)

船会社との交渉によりコンテナスペースの確保に全力を挙げることで、単体においては主力の海上混載やフルコンテナの単価、数量とも予想を上回って推移しております。また、株式会社ユーシーエアフレイトジャパンは、航空貨物の需要を取込むことができました。フライングフィッシュ株式会社は巣ごもり消費の継続により、食品輸入の取扱いが順調に推移しております。結果、日本セグメント業績は前回予想を上回る見込となりました。

#### (海外セグメント)

当社海外子会社の多くは日本からの貨物に基因する収入を主たる売上としており、各現地法人での貨物取扱量が増加しました。また、フォワーディング案件も順調に推移した結果、海外セグメント業績は前回予想を上回る見込となりました。

以上の状況により、2021年12月期通期連結累計期間の売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の連結業績予想を上方修正いたします。

(注)上記の予想につきましては、現時点における入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なることがあります。

以 上